

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記2

国立市立国立第七小学校

平成26年12月19日 NO.67 (167)



モンタ博士「花ちゃん、オー君、^{げんき}元気かい。2学期もあと少しだね。まとめのお勉強に^{べんきょう}がんばってください。ところで、今日は二人にリンゴとカキをあげよう。」

花ちゃん「ありがとうございます。^{わたし}私、くだものだいすき！」

オー君「リンゴとカキの^{かんさつ}観察をするぞ。といっても^た食べることだけど…まあ、^た食べるということは^{ごかん}五感を使う^{つか}観察だから、^{べんきょう}勉強にもなるし…いただきます。」

モンタ博士「そんなにあわてないで、^た食べる^{まえ}前によく^{かんさつ}観察してみようよ。くだもの^{やさい}野菜は、^た食べ物としてはよく^み見ているだろ。でも、くだもの^{やさい}野菜だって^{しょくぶつ}植物だよ。ね。^{しょくぶつ}植物のどの^{ぶぶん}部分を^た食べているか^{かんが}考えたことあるかな。」

花ちゃん「そういえば、ミカンやイチゴで^た食べているところは、^{かじつ}果実のどこなのかな。」

オー君「そういえば、タマネギを^{よこ}横に^き切ると、なぜ^{かんが}わっかになるのかな。考えてみると、よく^わ分からないことばかりだな。」

モンタ博士「そうだろう。^{のやま}野山に行かないと^{しょくぶつかんさつ}植物観察はできないと思っ^{おも}ているだろう。でも、そうではないよ。^{かんさつ}観察する^{ざいりょう}材料はおうちの^{なか}中にもたくさんあるのさ。」



オー君 「なるほど、その通りだ。今は外が寒いし、草や花もねむっている時だから、
くだものや野菜の観察もおもしろそうだな。」

花ちゃん 「『こたつ』でできる植物観察ということですね。晩ごはんの後のデザートを食べながらでも植物観察はできるんだ。」

モンタ博士 「野外で見る植物の果実はほとんどが小さいものばかりだろ。でも、くだものや野菜の果実は、大きくて観察しやすいよね。それに、おうちの人といっしょに観察するのも楽しいね。果実に入っていた種をまいて、芽の出る様子を観察したり、鉢に植えたり、春を待って花のつくりを調べれば、植物のようすもよく分かって楽しいね。」

花ちゃん 「それで、モンタ博士は、リンゴとカキを持って来てくれたんですね。」

オー君 「食べたいな、という思いはちょっとガマンして、じっくりと見てみよう。」

モンタ博士 「ここに持って来たのは、リンゴとカキだよ。さあ、花ちゃん・オー君。
よーく、よーく観察してごらん。」

花ちゃん 「でも、どうやって観察すればいいのかな。」 つづく・・・。